



# 新春を迎えて

町長 池部 彰

平成十六年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、イラク戦争と戦後統治の混乱、台風十号、十勝沖地震など、平和維持の難しさと自然災害の脅威を感じた一方、プロ野球阪神タイガースの18年振りのリーグ優勝と北海道日本ハムファイターズの誕生が明るい話題となった年でありました。

さて、昨年度からスタートしました「第四次総合計画」は、現在、公営住宅建替えと児童福祉の分野で基本方針の策定を進めているところであり、「まほらの南富良野 瑞々しい自然、誇れる大地、人のびのび、みなみふらの」の実現に向けて、町民皆さんと協働して新たな施策の展開を図ってまいります。

国の財政危機を背景とした市町村合併は、現在約三千二百の市町村を干にすることを目標に、財政支援や優遇措置を拡充して強力に推進されております。道内でも、平成十七年三月の合併特例法の期限を前に、六割近くの市町村が「協議会」を設置して合併の議論がなされており、本町においても昨年十二月に占冠村との「任意合併協議会」を設置いたしました。

協議会では、「合併ありき」ではなく、合併という歴史的な行政課題の中で、住民皆さんに様々な情報を提供しながら、二町村のあるべき姿を探り、我がまちの将来に「誤りなき判断」をするよう一層の努力をしております。

また、予想を超える割合で進む地方交付税の削減は、町の予算に歳入不足を招き、行財政改革が待ったなしの状況となっております。私自身を含め職員の人件費削減に踏み込む一方で、平成十六年度予算では粗大ごみの有料化や下水道料金の改定、各種補助金の見直しなどを予定しております。

商工鉱業については、長引く不況による個人消費の低迷、購買力の流出、金融不安など依然厳しい状況下にあることから、

商工業経営の安定継続のため、町融資や商工振興促進事業などに取り組んでいるところであり、今後も商工会など関係団体との連携を図り、一層の商店街活動を活性化し、地域に根ざした商工業の活性化に向けた取り組みを進めてまいりたいと考えております。

農業については、春先の天候が良かったことから融雪も進み作付けも順調に進んだところでありましたが、七月から八月にかけての低温と日照不足により寒冷地作物を除き一部の作物に影響がでました。更に、平年並みの収量を確保した人参については、輸入などの影響を受け価格が大幅に下落し、農業者と関係者の皆様にとりましては大変厳しい状況であったと思います。今後は、新規作物の導入や安定作物の作付けに向け検討する必要があるのではないかと考えております。

少子高齢化が進む中、子ども達の成長を第一に考え、町内の四中学校の統廃合を決断いたしました。現在、平成十七年四月の新設中学校の開校に向けて、教育計画や通学条件、閉校に伴う様々な課題の整備に取り組んでいるところであります。

また、次代を担う子ども達も健やかに育っていくための環境整備が求められていることから、昨年は地域子育て支援センター、一時保育、児童クラブ室などを開設してきたところであり、今後も家庭と地域が協力して子育てに対応できるよう支援してまいりたいと考えております。

行財政改革の着実な推進と合併の是非を問う議論がいよいよ始まります。町民の皆さんと多くの話し合いの場を設け、精一杯の議論を尽くして結論を見出してみたいと思いますので、尚一層のご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成十六年 元旦